

13 足助レディースパトロールセキュリティ隊（豊田市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	足助レディースパトロールセキュリティ隊
2 事業名	目に見える 動く啓発
3 事業実施結果	<p>高齢化率 43%の足助地区は、中山間地に立地し、ゆったりした風景の中に点在する家々は、平穏な地域です。特殊詐欺の手口はどんどん進化し今や誰が被害者になってもおかしくない状況に危機感を感じながら「私は大丈夫」という固定観念もあり特殊詐欺に対する知識と手口を「わかりやすい」をテーマにして今年も啓発を実施しました。</p> <p>特殊詐欺の被害防止活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マグネットステッカーを付けて視覚からの啓発活動 2. 高齢者宅訪問 3. 出前防犯教室 4. 年金支給日金融機関での啓発 <p>1. マグネットステッカーを付けて視覚からの啓発活動</p> <p>今年は今までの活動をさらに効果的なものにしようと「目に見える 動く啓発」をテーマに隊員の車に防犯標語を入れたマグネットステッカーを貼り付け視覚から訴える広報動く啓発に努めました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">防犯マグネットステッカー</p>

2. 高齢者宅訪問

(1) 過疎が進む地域の中で孤立しがちな高齢者宅（特に一人暮らし）を訪問し、会話を楽しみながら特殊詐欺の手口をわかりやすく説明する事が出来ました。

(2) 足助高校防犯ボランティア「アスケット」各地区民生委員、足助病院包括支援センターの方等、一緒に活動する人の輪が広がって毎年楽しみに待って見える高齢者の方へ防犯クリスマスリースを届けることが出来ました。



高齢者宅訪問と防犯リース作り

3. 出前防犯教室

コロナ禍の中、当初予定していた出前防犯教室が中止になり、管内に被害が出始める中待っているだけではダメだと、手作りの防犯冊子、紙芝居を使いミニ防犯講話で情報共有を図っていきました。

今年は出前教室の活動の場が広がり、岡崎や社会福祉協会の方とのコラボなど、新しい取り組みもできました。



出前防犯教室



手作り紙芝居



防犯冊子



防犯標語入り軍手

4. 年金支給日金融機関での啓発

地域住民の利用する金融機関に年金支給日に出向いて、ATMや窓口で特殊詐欺の手口や被害状況について情報発信をしました。

今年は各イベント会場にも出向き防犯を身近に感じて関心を持ってもらう事が出来ました





金融機関・イベント会場での啓発

4 成果と課題
及び今後の
取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

成果

今年度特に力を入れたのが高齢者に対する防犯啓発の充実です。コロナ禍の中でなかなか地域での集まりが少なくなり防犯に関する情報を身近に感じる機会も少なくなりました。そんなとき地域にある社会福祉協議会の方から話があり、アルプス隊とのコラボの防犯教室が始まりました。高齢者の方が楽しく、わかりやすく防犯に関心を持てるように、紙芝居・防犯冊子で説明を加えて反応を見ながらクイズ方式にして工夫しました。また、隊員の車にプレートを貼り地域を巡回して動く啓発に役立てました。

課題

今年度は管内で3件の被害が出てしまいました。まだまだ情報の発信不足を痛感しました。今後もより一層地域に出かけて「私は大丈夫」ではなく「私もあぶない！」ことを共通理解してもらうために活動を続けていきたいと思っています。

(2) 今後の取組み

特殊詐欺の手口は次から次へと新しくなっています。それに対応するためにも、情報の収集に努め、啓発活動にも工夫が必要になります。地域全体で犯罪の3原則を合言葉に安全で安心な地域を目指し、絆とふれあい、そして監視の目を大切にして、今後も地道な活動に取り組んでいきたいと思えます。